事 業 報 告 書

1 支援団体名	堀川再生の会・五平太
2 事業名称	遠賀堀川の未来を拓くワークショップ
3 実施日時	2014 年 7 月 31 日，9 月 6 日，10 月 11 日，11 月 23 日，2015 年 3 月 15 日
4 実施場所	北九州市八幡西区北鷹見町 13-10（生涯学習センター分館 第四会議室）
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容）＊できるだけ詳細に 市民，大学（北九州市立大学都市政策研究所/地域共生教育センター，筑波大学白川研究室遠賀堀川プロジェクトチーム），行政（国土交通省遠賀川河川事務所，福岡県北九州県土整備事務所）などが参加し，4 回にわたり，ワークショップ（遠賀堀川の未来を考える輪い和い話い夢会議）を開催した．第 1 回は「遠賀堀川ウォーク」，第 2 回は「遠賀堀川をこうしたい」，第 3 回は「遠賀堀川の活かし方を探る」，第 4 回は「夢の完成！遠賀堀川の理想像」と題し実施した．完成し，皆の夢（北九州地区の部分）を北九州市長，遠賀川河川事務所長，福岡県北九州県土整備事務所長の臨席のもと「北九州市長への学生提案式」として，発表した．
	（事業実施効果） ①市民の関心喚起 市民が遠賀堀川について知る機会となり関心が深まった． ②首長が意見を聴いてくれる場を企画 国・県・市の首長に皆で考えた夢を聞いてもらうことができた． ③連携づくり 遠賀堀川は２市１町にまたがり，河川管理者も国・県・市（県からの委託部分）と複数に関係者がまたがっている．今回のワークショップを通じ，それぞれの行政との連携，官民学の連携などをつくることができたことは画期的であった．
6 参加内訳	総人数　ワークショップ５０名×４回＋９０名　計２９０名
	（1）主催者参加　ワークショップ１０名×４回＋１０名　計５０名
	（2）日本人参加（（1）を除く）　２４０名
	（3）外国人参加（（1）を除く）　０名
7 今後の方針	今後も大学や行政と連携して，北九州地区以外でも遠賀堀川の川づくりを考えていきたい．特に，住民の悲願である水を遠賀堀川に流すことを目標にして，水量や水源について考えていきたい．北九州市の八幡製鉄所，中間のポンプ室が今年の 8 月頃に「世界遺産に登録されれば「遠賀堀川」も関連遺産として登録されるので未来を拓くステップになる．

第１回 WS（遠賀堀川ウォーク）

第２回 WS(遠賀堀川をこうしたい)

第３回 WS（遠賀堀川の活かし方を探る）

第４回 WS（夢の完成！遠賀堀川の理想像）

高倉健追悼記念　幸福の黄色いハンカチ設置
（高倉健ゆかりの遠賀堀川にて，４回 WS にて）

北九州市長への提案式